

情報発信等戦略の期間

令和5年度～令和7年度まで

情報発信等戦略

① 情報発信の内容

東日本大震災以後数々の風評被害があり、磐梯町で力を入れている観光の落ち込みは顕著です。震災以前は海外から、特に台湾からのお客様が多く来町していたため、東日本大震災からの復興には台湾人客数の回復が必要だと考え、昨年に引き続き「磐梯町・台湾観光交流拡大事業」を進めます。本事業では磐梯町の魅力を、日本在住の台湾人や本土台湾人に向けて情報発信をしたり、磐梯町の魅力を感じるツアーを開催していきます。

② 磐梯町の情報発信体制

磐梯町が主体となり、台湾との関係が深い委託業者に全体の企画・コーディネートをお願いし、台湾及び日本に関係する団体との協力を頂き、また企画会社や旅行代理店等に業務委託をする体制で進めていきます。

③ 情報発信等の戦略目標

磐梯町にとって重要な産業の柱である観光業を活性化します。そのために海外、特に台湾からの観光客の誘致や台湾への特産品の販売増を目指します。パンフレット制作や関東圏でのフェア参加にとどまらず、各種モニターツアー開催や台湾人インフルエンサーからの発信、地元企業とのコラボイベント開催、民家滞在体験者からの発信、滞在型観光開発により町の魅力のPRに努めます。

④ 全体工程表

R4年度：国内在住の台湾国籍者等の一般人対象のモニターツアー実施
台湾国籍のインフルエンサーによる情報発信
都心部での磐梯町特産品のフェア実施

R5年度：国内在住の台湾VIP対象モニターツアー実施
地元企業とのコラボイベント実施、都心部でのフェア実施
台湾商工会関係者対象の招待ツアー実施

在日台湾人から成る「チーム・バンダイ」の滞在体験と発信
R6～R7年度：滞在型観光の開発による観光交流人口拡大と移住定住促進
ゴルフ、サイクリング、キャンプの企画開発と共に、
カルチャー(撮影会、絵画会、写生会、俳句会等)の企画開発

(様式1-4)

407 磐梯町 地域魅力向上・発信事業計画

令和5年度

令和5年5月8日時点

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備考 (注4)
					交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c) = a × b	
1	A - 1	磐梯町・台湾、観光交流人口拡大事業	磐梯町	1/2	(0) 10,280 <10,280>	(0) 5,140 <5,140>	
2	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
3	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
4	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
5	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
				合計額	(0) 10,280 <10,280>	(0) 5,140 <5,140>	

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は、実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(注4) 福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村名の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式1-3)

407 磐梯町 地域魅力向上・発信事業計画 令和5年度～令和7年度

令和5年5月8日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)					総交付対象事業費	全体事業 期間 (注4)	備考
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			その他(注5)
1	A - 1	磐梯町・台湾、観光交流人口拡大事業	磐梯町		(5,041)	10,280	10,000	10,000	(5,041)	R4 ~ R7	
				<0>	<5,041>	<10,280>	<10,000>	<10,000>	30,280		
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<35,321>		
2	-								(0)	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	0		
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
3	-								(0)	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	0		
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
4	-								(0)	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	0		
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
5	-								(0)	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	0		
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
			合 計	(0)	(5,041)	(0)	(0)	(0)	(5,041)		
				0	0	10,280	10,000	10,000	30,280		
				<0>	<5,041>	<10,280>	<10,000>	<10,000>	<35,321>		

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。

(注4) 「全体事業期間」は、令和4年度以降に実施することが見込まれる事業については、令和4年度以降も含めて記載する。

(注5) 事業間流用を行った場合には、「備考」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

また、福島県については、実施要綱第4 6 ⑤の一の市町村の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、

「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式 1-5)

自治体名 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 5 年 5 月 8 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	事業名	事業番号	
	磐梯町・台湾、観光交流人口拡大事業	A-1	
事業実施主体	磐梯町	総交付対象事業費	15,321 千円
既配分額	5,041 千円	当該年度交付対象事業費	10,280 千円
経費区分ごとの費用			
一 地域の魅力向上・発信事業①情報			
①情報発信事業 小計 10,280 千円			
i) 風評動向調査 0 千円			
ii) 体験等企画実施 6,800 千円			
iii) 情報発信コンテンツ作成 3,480 千円			
iv) ポータルサイト構築 千円			
②外部人材活用 小計 千円			
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円			
ii) 地域の語り部の育成 千円			
二 関連施設の改修			
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円			
風評の払拭に関する目標			
会津磐梯山 磐梯町の魅力「特産品 水・米」を食し、素晴らしい自然を肌で感じ、磐梯町の魅力を国内・台湾に向けて発信し、台湾との観光の交流を促進し、観光客増を目指します。 令和 4 年度のインバウンド（台湾のみではなく海外からの観光客全体）約 8,000 人から、令和 7 年度には本事業等の取組により約 18,000 人を目標とします。 * 震災前のインバウンド数のデータ無し			
事業概要			
事業実施主体	磐梯町		
主な企画内容	「モニターツアー@磐梯町」の開催、「企業コラボ by 磐梯町」の開催、「磐梯町フェア&米と酒セミナー&新会津磐梯山盆唄お披露目」の開催、「磐梯町日台交流会と冬の会津磐梯ツアー」の開催、「磐梯町魅力発信事業」の開催、「ふくしまフェスティバル」への参加		
主な事業の実施場所	磐梯町、東京都内		
事業の実施期間	令和 4 年度～令和 7 年度		
企画内容			
【現状・課題】			
<現状>			
観光業は磐梯町にとって重要な産業の柱であり、町の活性化のために現在力を入れて取り組んでいるところですが、東日本大震災以来観光客が減少し、依然震災前の客数まで回復していない状況です。			
【磐梯町観光客入込み数】*磐梯町の主要観光地・施設等での数値			
H22 1,239,653 人			
H23 1,080,763 人			
R01 1,126,696 人			
R04 911,969 人			

海外からは主に台湾およびオーストラリアからの観光客が訪れています。* 平成26年度以前データ無し

<課題>

今年、福島第一原発のALPS処理水の放出決定というニュースは国内のみならず台湾でも大きく報道され、テレビで特番が組まれ、新聞雑誌でも大きく報道されています。これにより一時は沈静化していた風評被害が再燃しつつあります。そして海洋だけではなく、内陸の磐梯町においても危機感を増しており、この事態に磐梯町としても迅速に対応する必要が生じてきていると感じています。そのため、観光客が減少しないように引き続き風評払拭を推進することが必要不可欠と考えています。新型コロナに係る緩和を受け、当町としましては、以前から交流がある台湾からの観光来客の回復と増大を図るための取組を強化することが必要と考えています。

【課題に対するこれまでの取組と成果】

○これまでの取組

- ・2022年6月17日～19日、東京丸の内KITTE「Tokyo City i」において、東京華僑総会が主催する台湾小祭（磐梯町は共催）に参加し、産品販売、観光PRを行いました。
- ・2022年11月23日復興庁主催「ふくしまフェスティバルin名古屋」に参加し、特産品のPRを行いました。
- ・2023年1月～2023年3月まで、復興庁事業「磐梯町・台湾、観光交流人口拡大事業」を行いました。

○これまでの成果

昨年度は、主に在日の一般台湾人の方々をターゲットとして、モニターツアー、インフルエンサーツアーを開催し、YouTube再生回数37,000回や「いいね!」1,400人など多くの方に関心、興味を頂いており、また、「会津磐梯山」宝の山磐梯町フェアを開催し磐梯町の「名水」をはじめ特産品を紹介し、磐梯町の魅力を発信ができた情報発信の成果はあったと思われます。

しかし今年、福島第一原発の「ALPS処理水」の放出決定というニュースが台湾でも報道され風評被害が再燃しつつあり、磐梯町においても、福島県、磐梯町の更なる風評払拭をする必要があり、日本でも台湾においても影響力のあるいわゆるVIPレベルの方たちをターゲットとして事業を開催し、こうした方たちが磐梯町の情報を発信し、魅力をアピールし、ひいては風評被害からの脱却の一助とします。

【今年度事業における具体的な取組内容】

昨年度は主に在日の一般台湾人の方々をターゲットとして磐梯町の魅力を発信しましたが、今年度は一般の台湾人よりも今後の台湾人客の集客や台湾との交流促進に影響力のあるアッパークラスの方々をターゲットとして事業を実施し、風評被害払拭のためのPR効果を得ることを目標としました。

A 「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」

実施期間：2023年11月の2泊3日

実施回数：1回

実施体制：委託

概算費用：240万円

- ・2023年11月に「秋の磐梯の魅力」として「台北駐日経済文化代表処」と「華僑各団体代表」の台湾VIPのみを2泊3日招待いたします。
- ・日本国内において台湾政府・華僑との密接な関係の構築をし、台湾との商工・観光の交流を促進します。
- ・招待者数は「台北駐日経済文化代表処」10名、「華僑各団体代表」10名とします。
- ・日本の大使館である「台北駐日経済文化代表処」の方々が磐梯町にお越しいただく事により、日本及び台湾のマスコミ関係も同行する事が想定されます。それによって、台湾国内に磐梯町を深く発信でき、風評被害払拭に向けて多大な効果が予想されます。

B 「企業コラボ by 磐梯町」

実施期間：2023年8月～2024年2月

実施回数：2回（秋・冬）

実施体制：委託

概算費用：140万円

- ・磐梯町に工場が立地するシグマ社のシグマカメラ又はシグマレンズを用いた「磐梯ショートムービーコンテスト」事業とします。
- ・撮影時期は 2023 年 9 月～12 月とします。
- ・コンテスト応募者はアマチュアの 3 名以上の団体参加として事前に企画意図などを書いて参加申請をしていただきます。応募多数の場合は厳正な審査で 10 組とします。

※シグマ社と磐梯町とはすでに写真コンテストを実施しており、イベント周知に関してもノウハウと実績があります。とくに今回は、チラシ等の広報物、台湾関係の各団体に配布し集客をいたしますので、さらなる周知活動が展開できると思います。

- ・サポートサービスを希望する方には以下の支援をします。
 - a) 磐梯町の民家を宿泊施設として無料にてご用意します。
 - b) ロケーションツアーとして、磐梯町の史跡慧日寺跡、酒蔵、道の駅、農家、磐梯山など、シグマ工場などを無料でご案内します。
 - c) 撮影期間中にシグマカメラ又はシグマレンズを無償貸出します。
- ・応募締切は、2023 年 12 月末日とし、2024 年 2 月に東京都渋谷駅前「渋谷キューズ」にて「磐梯ショートムービーコンテスト表彰式典」を開催します。佳作、優秀作品には磐梯町産品（米と酒と賞金）を、最優秀作品は「磐梯町長賞」を授与します。
- ・佳作、優秀、最優秀作品は YouTube にて配信します。
- ・応募写真の著作権は磐梯町に帰属し磐梯町の PR などに使用します。

※現在、シグマ社はカメラレンズで世界的な評価を受けていますが、さらに自社製のカメラの開発販売に力を入れており、とくに「動画撮影」において新製品カメラを発売し存在感をアピールしています。磐梯町としては、シグマ社のこうした事業戦略に歩調を合わせ「磐梯ショートムービーコンテスト」を企画し事業としました。磐梯町とシグマ社ではすでに写真スチールでのコンテストを実施しており、両者の PR 活動として大きな成果を得ています。今回も「動画」ということで、さらに大きな相乗効果が期待できます。したがって本事業においてはコンテストの準備から実施までシグマ社全社として中心的に関わっていただきます。

C 「磐梯町フェア&米と酒セミナー&“新会津磐梯山盆唄”お披露目」

実施期間：2023 年 11 月の土曜日と日曜日

実施回数：1 回

実施体制：委託

概算費用：150 万円+職員旅費 17 万円

- ・2023 年 11 月初旬～中旬、東京都渋谷駅前「渋谷キューズ」(200 名)の会場で開催します。
- ・「磐梯町の米と酒」に興味のある台湾及び日本国内の人々に磐梯町の魅力を発信します。
- ・「酒の試飲会」「新米の試食会」「新そば試食会」を行い、磐梯町特産品を PR します。
- ・新しくできた“新会津磐梯山盆唄”の歌詞のお披露目を、磐梯町出身の若狭さちさん (NeoBallad) に歌っていただきます。また台湾人歌手にもご参加いただき、磐梯町と台湾との友好を促進します。なお台湾人歌手には“新会津磐梯山盆唄”の中国語歌詞で歌っていただきます。

D 「磐梯町日台交流会と冬の会津磐梯ツアー」

実施期間：2023 年 12 月の 2 泊 3 日

実施回数：1 回

実施体制：委託

概算費用：240 万円

- ・2023 年 12 月に台湾ロータリークラブ会員を 20 名招待し、2 泊 3 日の「磐梯町日台交流会と冬の会津磐梯ツアー」を実施します。
- ・台湾商工会関係者に直接に磐梯町の商工業の現状を紹介し、また、冬の観光資源を体験していただき、台湾との商工交流と観光交流につなげます。

※日本においては星野リゾートアルツ磐梯からの案内を想定しています。台湾においては台湾ロータリークラブを通して会員向けにご案内をします。また日本国内の在日台湾系華僑においては約30団体を通してご案内をさせていただきます。

E 「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」

実施期間：2023年8月～2024年3月

実施回数：10～20回（累計参加者10名～30名を予測）

実施体制：委託

概算費用：200万円

- ・磐梯町の魅力発信（観光PR／インバウンド誘客）の調査と推進のために、国内の在日台湾人や台湾関係団体に呼び掛けて公募などから選んだ方々を「チーム・バンダイ」として結成させ2023年8月～2024年3月までのうち2泊3日から最大1か月の任意の間磐梯町に滞在していただきます。滞在用の民家をご用意し、参加者の交通費・生活費の一部を補助します。
- ・「チーム・バンダイ」の方々には磐梯町の農家、製造業、サービス業、ボランティア、観光、様々な団体法人などにおいて体験、ワークショップ、インターンシップなどをしていただきます。
- ・「台湾人磐梯町暮らし・楽しみ・学び」の専用サイトを作成し、「チーム・バンダイ」の方々の体験の様子を取材してSNSや動画を発信します。
- ・蓄積されたデータを基に調査報告を作成します。

F 復興庁主催イベントへの参加

実施体制：委託

概算費用：20万円+職員旅費20.5万円

- ・磐梯町の魅力を発信 名水の紹介（酒の試飲など）

【今年度事業における目標】

A 「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」

- ・この「台湾VIPモニターツアー@磐梯町」により、日本側20社以上のマスコミに取り上げていただくと共に、台湾のテレビ、新聞、WEBでの報道により大きなPR効果を得ることを目標とします。

B 「企業コラボ by 磐梯町」

- ・磐梯町に工場が立地する、世界的なカメラとレンズメーカーである株式会社シグマとのコラボ企画事業を実施することにより、地元企業と協同した町のPR効果を確認し、町内の他企業との協同も模索します。

C 「磐梯町フェア&米と酒セミナー&“新会津磐梯山盆唄”お披露目」

- ・磐梯町特産の酒、お米、そばをフェア期間中1,000人を目標に実際に試食・試飲していただき、販売増につなげます。新しくできた盆唄を日台歌手がそれぞれの言葉でお披露目することで、日台友好を促進します。

D 「磐梯町日台交流会と冬の会津磐梯ツアー」

- ・台湾商工会関係者に磐梯町の商工業者との交流や視察をしていただき、産業交流を図ります。
- ・冬の磐梯町を体験していただき、台湾からのインバウンド増加につなげます。

E 「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」

- ・台湾人が実際に磐梯町で暮らし、体験したことを専用サイトから発信することで、日本国内や台湾、中華圏の人々に磐梯の魅力を知っていただき、インバウンド誘客に活かします。

F 復興庁主催イベントへの参加

- ・磐梯町の魅力を発信し、特産品の紹介を行うことで、観光客増と特産品の販売増を目指します。

【今年度事業の実施により得られる効果】

- ・今年度事業は、昨年度事業よりターゲットを絞り、より効果が上がる手法で進めていきます。具体的に「台北駐日経済文化代表処」の方々にお越しいただくことにより、台湾国内での話題を盛り上げ、よりマスコミに取り上げていただき、風評被害払拭を推進します。
- ・また、12月に台湾ロータリークラブ会員を20名招待する事により、今後の民間サイドでの貿易交流実績を作る起点になる事が見込めます。
- ・さらに、国内での「企業コラボ by 磐梯町」や「磐梯町フェア&米と酒セミナー&“新会津磐梯山盆唄”お披露目」により、よりターゲットを絞り、真の「磐梯町ファンづくり」のスタートにします。
- ・「磐梯町魅力調査・開発・発信事業」により、今後日本在住の台湾人または華僑などが磐梯町と関わり、交流人口拡大に繋がる可能性があります。
- ・事業実施により「観光関係社」「台湾輸出業者」などの、予備契約数社を目指します。

【次年度以降の取組】

- ・今までの観光、特にインバウンドは「通過型観光」でしたが、今後は「滞在型観光」への移行させていく予定です。次年度以降は通年型の台湾からの交流人口拡大を目標に、実際の効果が見える事業に展開していきます。
- ・台湾人や中華系の方々を中心に、関係する日本人をターゲットとして、磐梯町への移住定住、そして観光交流人口の拡大を目標とし、磐梯町への滞在型の観光企画を進めていきます。
- ・「滞在型観光」の主体は、スポーツとレジャーです。スポーツの中で、磐梯町の海外からのスキー客は増えています、その他にはやはりスポーツでは「ゴルフ」と「サイクリング」、レジャーでは「キャンプ」の企画開発です。
- ・台湾のゴルフ人口は増加しており、日本でのゴルフプレー人口も増えています。台湾からのゴルフプレーヤーは現在、主に千葉県でゴルフをプレーしており、その他の地域での企画開発は、台湾関係者から要望されています。
- ・キャンプは、特に台湾の若者の中でキャンプブームが来ており、サイクリングは、台湾にはサイクリング大手のジャイアント・マニファクチャリングがあり、台湾国内でもサイクリングブームです。以上の理由から、今後の磐梯町観光交流人口拡大には、「ゴルフ」「キャンプ」「サイクリング」の企画開発が必要不可欠と考えます。
- ・カルチャー（撮影会、絵画会、写生会、俳句会…）についても、多くの方に磐梯町を訪問していただくよう、企画を練って行きたいと考えています。